



カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区中田北1丁目9-1
Tel. (045) 803-6141
1998年4月5日

今月の予定

委員会	4月5日
枝の主日	4月5日
復活祭	4月12日
サロン	4月26日

委員会だより

<3月8日(日) 12名出席>

【1】財務報告：98年2月度決算報告、今回は資料配布のみ。

【2】議題：

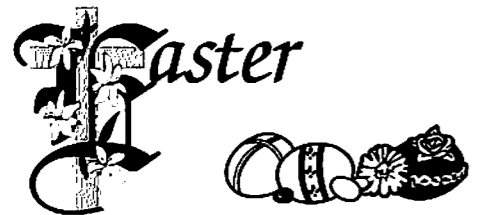
- (1) ご復活祭並びに献堂25周年(2/24)お祝パーティーの件：
 - 4月12日の復活のミサ終了後、開催する。
 - 婦人会、役員になるべく負担のかからない形で企画する。
 - (方向は「持寄り」だがメインディッシュは教会で用意。予算は8万円。別途、婦人会で審議)。
 - 記念の御絵を準備する(位田さん準備 - 小野さん印刷)。

- (2) 信徒名簿の改訂：
 - 25周年の区切りとして、信徒名簿の改訂を行う。
 - 信徒に記入をお願いする調査票の書式を了承、次週より配る。
 - 記入締切りを、3月末日とする。

- (3) 自衛消防隊の見直し：
 - 委員改選に伴う自衛消防隊の担当見直しを行い、分担を決定。(別項の自衛消防隊担当表参照)

- (4) その他案件：
 - 聖週間の土曜日のごミサの開始を、夜8時から夜7時開始に変えられないか？ ⇒ 別途神父様と調整
 - 枝の主日の「枝」準備：70本準備する。(位田さん)
 - 聖歌の集い：
 - <予定通り、4月26日に藤が丘公開で開催される。>
 - <中和田教会は、毎年多数参加しており、感謝されている。>
 - <共同祈願を小谷さんをお願いして、ご快諾を頂いている。>

要理研修会が、3月21日(土)に菊名教会で開催され、石井さんが出席する。他教会は若手が参加しており、中和田も若手の参加を願いたい旨、石井さんから要望あり。



壮年会だより

<3月15日(日) 10名出席>

- 御復活祭(4月12日)を迎えるに当たって
 - 大掃除
4月11日(土)午前10時～正午
 - パーティでコーヒーサービスを実施
- 土曜日の夜のミサの開始時刻について
従来の開始時刻(午後8時)から1時間繰上げ午後7時にして頂くよう神父様に要望する(典礼委員)
- 故セバチスチアノ宮崎晋さん(86歳)の葬儀(3月12日、原宿教会) 壮年会代表で七浦さん出席
- 集会室の故障している換気扇の取り換えを営繕担当委員へ要望

婦人会だより

<3月15日(日) 40名出席>

- ◎ 教会委員会報告
- ◎ 遠足について
 - 5月13日(水)宮ヶ瀬方面(日向薬師、ノリタケ、厚木教会等)に決定いたしました。
 - 多数のご参加をお待ちいたしております。
- ◎ バザーについて
 - 3月19日(木)奉仕日 10:00～3:00
 - 毛糸布地等ありましたら寄付をお願いします。
- ◎ ボランティア保険の加入について
 - 1人600円。3月末日迄に岩崎さん迄お願いします。
- ◎ 4月の例会から、新集会所1階で行います。
- ◎ 新会員の御紹介(敬称略)
エリザベト 赤岩 基恵 Tel. 862-9545 (B地区)

次回例会は4月19日(日)、次回当番はA地区です。

お知らせ

御逝去
セバチアノ 宮崎 晋 1998.3.6

御ミサ時間
聖木曜日、聖金曜日：夜8時
聖土曜日：夜7時(変更されました)

ミサ当番表 (98年4、5月)

月/日	主日	朗読、奉納	オルガン	月/日	主日	朗読、奉納	オルガン
4/5	受難の主日(枝の主日)	山田	岩淵	5/3	四旬節第四主日	小谷	岩淵
4/12	復活の主日	青年会	美底	5/10	四旬節第五主日	青年会	美底
4/19	復活節第二主日	婦人会A地区	森田	5/17	四旬節第六主日	婦人会B地区	森田
4/26	復活節第三主日	清水	大宮	5/24	主の昇天	七浦	大宮
				5/31	聖霊降臨の主日	婦人会B地区	岩淵

※当番の方は10分前には集合して下さい。
※ご都合の悪い方は典礼委員までお申し出下さい。(萩原: Tel. 802-6258)

思いワズラウの事 付一

山崎 正俊

使徒も弟子たちも、師とのお別れに、不安と淋みしさに包まれ、どうしたらよいか見当もつかない。希望の輝きに満たされるはずでも、本当にそう思ってもよいという印(しるし)は弱い。いま、二千年近くすぎているのに、それほどたしかさは見えない。

あの元旦が、なぜか口先の祝日。儀礼的な日。年賀状もゴチソウも、あわただしい行事。晴着も門松(カドマツ)でも、あの小さなお正月の飾餅も、ハネ突きもタコ揚げもコマ廻しも、獅子舞や萬歳も、なにも彼も、みんな、しふるされたもの。

クリスマスも御復活も、なんでも、舞台作りで、その気にさせるが、ただのうわつつらのこと。たしかに新しい誕生は、救いの完成は有難く嬉しい。それでも、その背後にある悲しみと耐えねばならない苦難とが、ひしめいていることは忘れてはおられぬ。それが有難い日になるには、一日一日の労苦を重ねなければならない。その先にある無事の時への希望に燃える心の張りを持ちたい。

イエズスさまの御姿の意味をたよりにしておれるので、あの幼児の信頼と満たされた心の輝きの隙き間に見せられる悲しみを越えるものを与えるように、心の励ましが要る。

何かをたよりにしていても、その光は消えそうになるはかなさに、またたきつづけている。まことにたよりにできるほどのものは、張りつめた、生きようとする努力が、だれかに支えられていることが感じられるときにこそ、喜びのもとになる。

母は忙しかったので、毛布を敷いて、そこで遊ばせようと心配りをしたつもりであつたのに、幼児は何をしたらよいかわからなくて、困って泣きたくなった。それをじっと見つめていたのに、することもなく、母のカーディガンのすそにつかまって、母のぬくもりを求めようと顔をうずめた。そのはからいが受けとめられず、心の準備がないままに、せつかくのものが、重荷になってしまった。

さきに生を受けた者は、たより応えられるようになっていなければ、そのイックシミを妨げないようにして、胸迫るような思いだけは避けさせねばならない。気がつかないので、冷たさに打ちひしがれたままにするならば、そのまま、終わってしまう。

過ぎ去ったいろいろなことを、あれこれと探しつづけて、それに新しいものを付け加えながら、話し手は、もっと深めるようにつとめる。寄席のベテラン芸人たちは、同じ筋道をたどりながら打開の手を見つける。生きるということは、困ってたたずめないことなのだ。下手であっても、まずいことであつたとしても、何が何でも、中止はしない。さきへ進むなら、以前に出来たことを、たどりながら、何かを付け加えてゆく。そのうちに道は開けてゆくはずだという自信が、形をととのえさせることになり、まとまってゆく。

神様よう。これまでの生活のなかで、気がつかないでいたことを、こうして補わさせてくださるのですね。そこで、この冷静さに、我ながら、驚かされたままで終わらせず、二度目には、もっと、心の奥深くにとどくようにさせてくださるのですか。同じ話題を繰り返していても、何処か新しい感動を呼びさまさせて、そこから、進展を得させておくれ。

サークル紹介 (婦人会)

現在中和田教会には、いろいろな同好会やサークルがあります。どのサークルでも、老若男女を問わず多くの方の参加が待たれています。時には顔を出してごらんになってみてはいかがでしょうか？

名称	日時	内容	連絡先
いとの会	毎週木曜日 13:00~16:00	手芸品制作、バザー用作品作り協力	鈴木 (851-1653) 青柳 (801-7409)
エプロン金	第4火曜日 10:00~12:00	手軽に買える材料で、日常役立つ料理を作り、試食する	位田 (803-3187)
ばらの会	第2土曜日 10:00~12:00	教会前庭の花壇づくりと、  その手入れ	松下 (302-7900)
レジオマリエ	第2,3,4金曜日 10:00~12:00	祈りと提要研究、分かち合い 他教会との交流	中島 (803-1404)
ロザリオの集い	第2月曜日 10:00~12:00	祈りと分かち合い (井上さん投稿参照)	井上 (804-0682)



受洗のコト

小野 イク

洗礼を受けると言う事は、私にとりまして長年の懸案でもあり、又恐れのようなものでありました。昨年、クリスマス前の佳き日に洗礼を授けて頂いて、上辺は何の変化もない私でございますが、心の中は(うまく言えませんが)大きな安らぎに満ちているのでございます。

これでやっと信仰生活の一步を踏み出せたという喜びは大きいのですが、未熟者故の不安もないわけではございません。山崎神父様の週二回のお勉強はまだまだ続けて頂く事になりました。

神父様の多方面に渡る御教えを授けて頂ける事は大きな喜びの一つでございます。時には目から鱗が落ちるようにハッとしたり、私の拙い質問にも誠意を持ってお答え頂けるので、信仰というものが解かりかけたところでございます。神父様のおっしゃる通りに、心を神様に向け、神様と共に居るといふ安らぎに生きて行きたいと思っております。

そして「私がお前達を愛したようにお前達もお互いに愛し合い働きなさい」というお言葉こそ信仰のよりどころだと思いますし、これこそ神様の大きなお恵みであると思います。やっと皆様のお仲間に入れて頂いた計りでございます。背伸びしないで神様と向き合った生活が出来れば、本当に嬉しいと思っておりますので、どうぞよろしく御願いも申しあげます。

三月二十一日



青少年コーナー

成人式の集いに参加して

石井 政仁

去る1月11日に今年度の新成人になる方を迎えて、ちょっとしたパーティが催された。

「中和田教会には若者が少ないなあ。」周りの信者さんたちに言われ、自分でもそう思っていたところに、青少年の教会離れについて考える「青少年委員会」の小野寺氏より、自分に呼びかけがあった。成人する方々のために何かお祝いほできないか、と。それがちょうど1カ月前の12月初め頃だった。このときから、何とでもこのお祝いを成功させるべく、そしてこれを機会に一人でも多くの信者が教会に足を運ぶようになることを願い、有志が集まって企画を進めるに至った。

昔は一緒に寝泊まりし、ふざけあった連中も、さすがに5年や10年ブランクがあると、ちょっと電話することも気恥ずかしかったり、或いは連絡がなかなかつかないなど、多少障害はあったものの、そんな時にも多くの信者さんたちに力を頂いて、当日を迎えることができた。

今年、中和田教会で成人を迎えた方は7名。そのうち3名が実際に集まり、またお祝いに駆けつけてくれた人たちも高校生から社会人まであわせて十数名にもなった。この日はサロンの日でもあったので、まずは新集会室で教会の人たちと一緒にお茶を楽しみ、そのあと集会室で高校生から社会人だけで仕切り直しをした。そこでは久しぶりの再会ということもあって話しも結構はずみ、昔話から、お互いが今現在何をしているか、今最も力を入れてしていること、これから先やってみたいことなどまで、さまざまに盛り上がった。

暫く会わないうちに、皆それぞれが忙しくなかなかに教会に足を運ぶ時間ができないということが解った。同時に呼び集めればある程度ではあるが、集まれるということも解った。これからも自分は神さまがいるのは教会だけではないと信じつつ、このような呼びかける機会を大切にしていきたいと思う。

ロザリオの集い
井上 君子

この集いをご存じでしょうか？ この集いは、栄さんのご主人様がご病床にあった頃、栄さんのお家で4、5人が集まり、ご主人様の側でお祈りやお話をしていたのが始まりです。当時、幼きイエズス会のシスター山本に霊的ご指導もしていただきました。

その後ご主人様が帰天され、シスターも静岡に異動されましたが、みなさんの心が一つになり、「ロザリオの集い」として続けられました。今年の4月で4年になります。

心で静かに祈る時間はそれぞれにもたれますが、月に1度声を出してロザリオを唱えることが、神様とお話できる時間と思えます。祈りの後のお茶の時間には、お互いにいろいろの問題を話し合い、共に喜びや悲しみを分かち合って過ごします。

毎月第2月曜日、10時から集まっております。ロザリオをお持ちになってお出かけください。

カトリック中和田教会 自衛消防隊

平成10年3月 改

隊長 山崎 神父

